

～子育てを支える地域の思いやり～

# しろいし子育て応援団

“子どもは地域の宝”という地域の方たちの思いから、白石区では、子育て中のお母さんたちの出会いの場として、地域主体の子育てサロンが次々と開設され、子育て支援の輪が広がりはじめています。



菊水地区子育てサロン「どんぐりころころ」

## 大きく変化した 子育て環境

近年、少子化や核家族化、都市化の影響により、子育てを取り巻く環境は大きく変化しました。都市化の進展が、近隣とのつながりを希薄にし、育児環境が孤立化することで、子育てにストレスや不安を抱える親も少なくありません。

こうした状況の中、札幌市では、誰もが安心して子どもを産み育てることができ、まを産み育て、子育て情報の提供や子育てボランティアの育成・活動支援のほか、子育て支援ネットワークづくりなどさまざまな子育て支援事業を進めてきました。

昨年四月には、中央区に札幌市の子育て支援の拠点施設として「札幌市子育て支援総合センター（※）」を開設。親子が自由に交流できる場の設置や子育て講座の開催など多様な事業を展開しています。

## 地域に広がる 「ふれあいの広場」

現在、乳幼児を持つ親同士が自由に交流するための場の一つとして「子育てサロン」が開催されています。さまざまな遊具などが用意されており、参加した親子が気軽に遊

んだり、おしゃべりしながら交流することができます。

この子育てサロンには、行政主体のものと地域主体のものがあります。行政主体のサロンは、区内九カ所の児童会館で、毎週開催されています。また地域主体のサロンは、社会福祉協議会や福祉のまち推進センター、民生委員・児童委員協議会、まちづくりネットワーク協議会などが中心となって開催されています。

白石区では、地域主体の子育てサロンの開設を、地域との連携の下、重点的に進めており、今年には新たに六カ所を加え、九カ所となる予定です。



▲子育てサロンにたくさんの親子が参加しています。

今年六月には地域主体の子育てサロンとして市内で百カ所目、菊水地区では初めてのサロン「どんぐりころころ」も開設されました。菊水地区民生委員・児童委員協議会が